

帯広畜産大学附属図書館

フォーラム「図書館の連携～地域に根ざす図書館であるために～」資料

帯広畜産大学教育研究協力部学術情報課 清水 夫美子

2005. 7. 22



目次

- 帯広畜産大学附属図書館の歴史
- 帯広畜産大学附属図書館法人化後
- 帯広畜産大学附属図書館の概要
- 帯広畜産大学附属図書館の役割
- 帯広畜産大学附属図書館の課題
- まとめ

帯広畜産大学附属図書館の歴史

- 昭和24年(1949) 帯広畜産大学設置と同時に附属図書館設置(前身は昭和16年(1941)創設の高等獣医学校)
- 昭和43年(1968) 附属図書館新築竣工
- 昭和44年(1969) 一般利用者貸出し開始
- 昭和56年(1981) オンライン情報検索サービス(*1)の運用開始
- 平成元年(1989) 附属図書館増築竣工
- 平成2年(1990) 業務電算システム(*2)化
- 平成6年(1994) 土曜開館を開始(10:00~16:30)
- 平成11年(1999) 日曜開館を開始(10:00~16:30)
- 平成12年(2000) 図書館ホームページ開設
- 平成14年(2002) 電子ジャーナル(*5)導入
- 平成15年(2003) 利用者サービスの拡大(月1回の休館日廃止・時間延長・貸出冊数増5冊から10冊)

貸出業務の電算化

ILL(図書館間相互貸借システム(*3))開始

全国大学図書館目録データベース(*4)共同構築作業

大学図書館における

電子図書館機能(*6)の強化が図られる

帯広畜産大学附属図書館法人化後

- 平成16年(2004) 国立大学法人帯広畜産大学となる。
 - ・ 十勝管内広域貸出制度加入・道内大学図書館相互利用サービス参加
 - ・ 自動貸出返却装置(*7)の設置
 - ・ 各種データベースの導入
 - ・ 学外利用者へのサービス拡大(他機関からの資料の借用・複写取り寄せ)
 - ・ 十勝管内研究者対象情報検索ガイダンス実施
 - ・ 北米大学図書館及び韓国大学図書館等との相互利用制度(GIF(*8))に参加
 - ・ ボランティア制度の導入
- 平成17年(2005) 更なる利用者サービスの拡大
 - ・ 春・夏・冬季休業期間を除く祝祭日の開館(9:30~17:30まで)
 - ・ 各種ガイダンス実施 (図書館内ツアー, 蔵書検索, 一般の方, オーダーメイドなど)
 - ・ Web経由図書館情報サービスの充実(携帯からの蔵書検索や文献複写(*9) 借用依頼などが自宅からも)

帯広畜産大学附属図書館の概要 その1

■ 蔵書数

平成16年度の統計

・全学 約 18万9千冊

そのうち和書 約14万2400冊 洋書 約4万6600冊

図書館には 約14万300冊(約75%)

雑誌は 和雑誌 約5,200種 洋雑誌 約1,200種

現在継続中の雑誌は 和雑誌 約3,040誌 洋雑誌 約300誌 (寄贈含む)

*主に自然科学分野と農業・畜産獣医関連分野の資料が多い。

■ 電子ジャーナル

3,500タイトルが利用できます。(購入分)は2,440タイトル

■ 視聴覚資料

1,540タイトル(ビデオテープ1,077本, CD・LD・DVD283枚, カセットテープ180個)

帯広畜産大学附属図書館の概要 その2

■ 入館者数

156, 886人 1日平均約500人

平成16年度の統計

■ 貸出冊数

18, 413冊 (そのうち学外登録者1, 344冊) 1日平均約60冊

■ 相互利用件数

図書貸借 他機関から借受: 124冊, 他機関へ貸出: 104冊

文献複写 他機関から取寄せ: 3,056件, 他機関へ提供: 1,118件

海外複写依頼: 16件

■ 参考調査業務件数(レファレンス業務)(*10)

1,155件 1日平均: 約4件

帯広畜産大学附属図書館の役割(その1)

■ 学習図書館機能

- ・ 学生が授業や自学自習のための資料の整備
 - ・ 授業で使う図書や資料の展示・・・シラバス^(*11)コーナー
 - ・ 調べ物をする ……参考図書・二次資料^(*12)コーナー
 - ・ 資格を取る・・・資格・試験資料コーナー
 - ・ 日本のことを知る・・・留学生用資料コーナー
 - ・ 一般教養書・・・文庫・新書本コーナー
- ・ 学生の情報収集のための関連機器の整備
 - ・ 授業関連の電子媒体での学習・・・情報コンセントコーナー^(*13)
 - ・ 求める資料のありかを調べる・・・図書館の蔵書検索コーナー
 - ・ インターネット経由のサービスの提供・・・ホームページの開設



■ 情報リテラシー (*14) 教育の支援

- ・新入生オリエンテーション・図書館ツアー
- ・学内蔵書検索(OPAC (*15) の使い方)
- ・各種ガイダンスの実施 出前でオーダーメイドで
 - ・情報検索法
 - ・論文・レポート作成法
 - ・各種データベースの使い方
- ・電子ジャーナルやデータベースの利用講習会



帯広畜産大学附属図書館の役割(その2)

■ 研究支援図書館機能

- ・ 研究者が必要とする資料の整備
- ・ 「文献」を調べるための資料の整備 → 電子化資料
- ・ 相互利用による文献・資料の入手・・・国内のみならず

■ 電子図書館機能の整備

- ・ 本学の学術研究報告の電子化
- ・ 電子ジャーナルの整備(約3,500タイトル)
- ・ 電子ジャーナルやデータベースの整備と利用講習会
- ・ 有用な電子情報の整備と充実

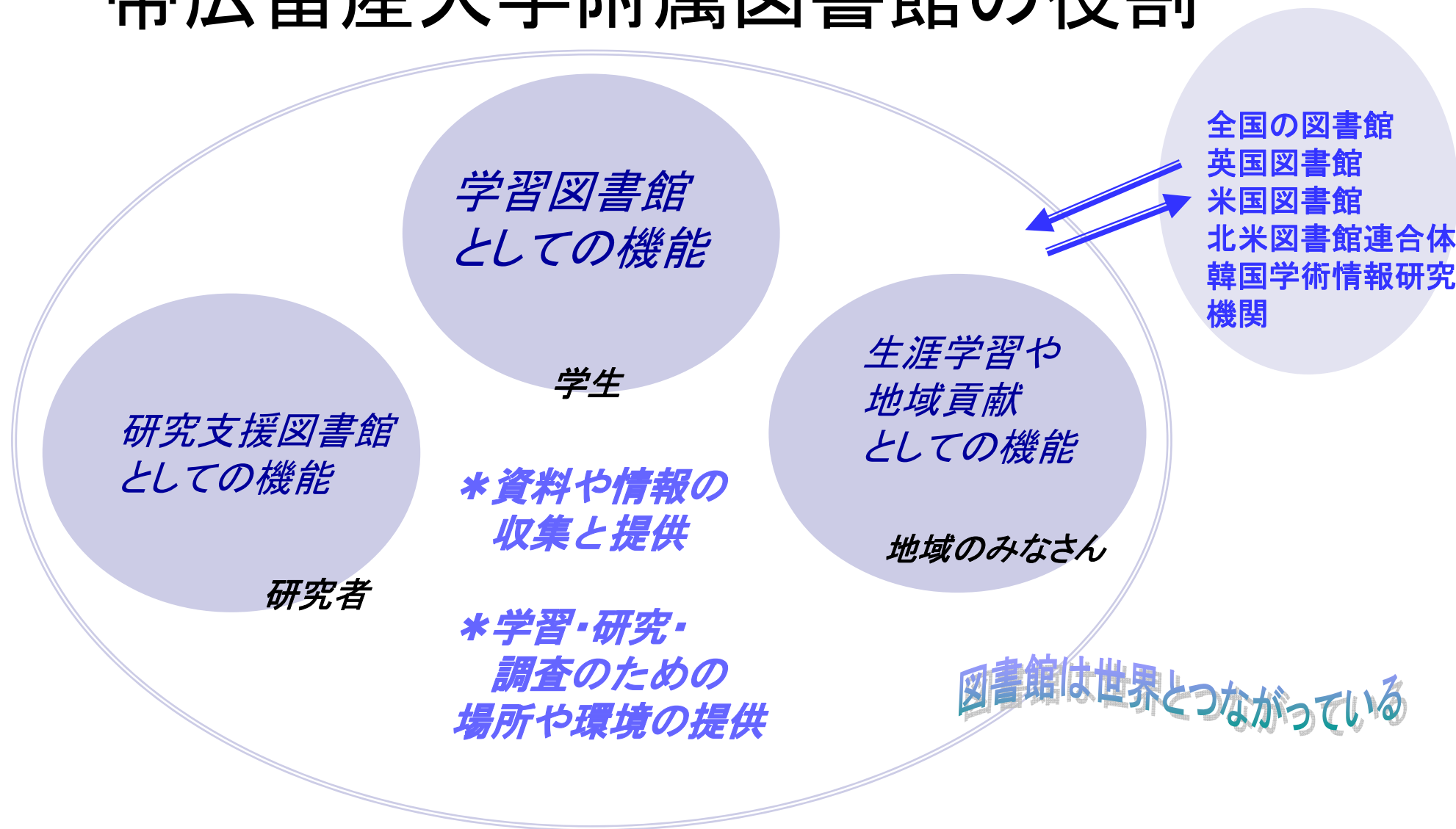


帯広畜産大学附属図書館の役割(その3)

■生涯学習や社会貢献としての機能

- 総合学習の受け入れ (小・中学生)
- 一般利用者へのサービス拡大(他機関からの資料の借用・複写)
- 十勝管内研究者および共同研究機関対象情報検索ガイダンス
- 市民開放公開講座(*16)受講生へのガイダンス
- 開館時間の延長や土・日・祝日の開館により利用サービスの拡大
- 一般の方への情報検索ガイダンス
- ウェブ経由の利用サービス提供・・・自宅から文献複写や図書借用等申込み可能

帯広畜産大学附属図書館の役割





帯広畜産大学附属図書館の課題 (その1)

- 電子情報の整備
 - 電子ジャーナル・データベース等の整備と充実
 - 図書館ホームページによる情報リンク集の整備
- 研究成果の発信……機関リポジトリ (*17)
 - 学術研究報告の電子化
 - 大学の研究成果のウェブで国内・外に発信
 - 24時間開館

帯広畜産大学附属図書館の課題 (その2)

・地域連携として

- ・ 郷土資料のデータベース化共同作業
- ・ 目録の横断検索
- ・ 市民向け共通ガイダンス
- ・ 資料の棲み分け…… 福祉関係図書・電子資料・郷土資料など

・地域連携には・・サービスに対する共通理念をつくりあげる

- ・ 情報ネットワークの基盤作りー横断検索
- ・ 人的ネットワークづくり
- ・ 図書館の母体の自治体の管理者層との共通認識も必要
- ・ ハード面の壁を乗り越える
- ・ 予算の裏付け
- ・ 税金の有効利用……共通財産的発想

とはいってもいきなり変革することは難しい！できるところから

まとめとして

■ 利用者にとって

- 生活に根づく図書館……児童から高齢者まで課題を解決する
- もっと身近に……開館時間を早めるとか、休日の夜間開館など
- 知的要求を満たすことができた……知る権利・想像力を刺激されたか
- ボランティアの活用……ハンディキャップサポート

■ 今回のフォーラムの機会を、今後に生かせるような

- 人的ネットワークをつくりあげる
 - ……自館で解決できないことは、助け合い、解決方策を共有する
- これからも図書館の可能性を語り合い
 - ……新しいことにチャレンジし、地域の方々からの支持を得よう！

図書館は利用者
に
育てられる